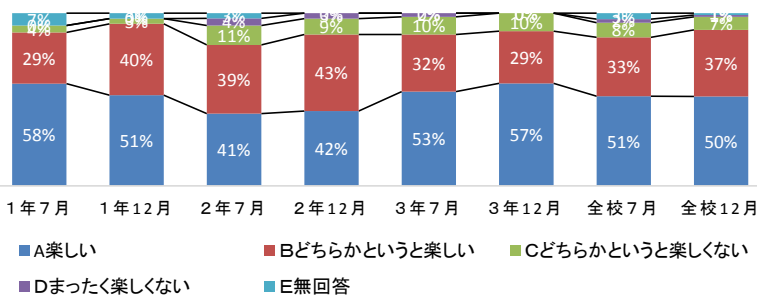


2019年度 宇部市立桃山中学校 2学期学校評価集計結果(生徒用1, 2学期の比較)

1年生－77名 2年生－112名 3年生－115名 計304名集計

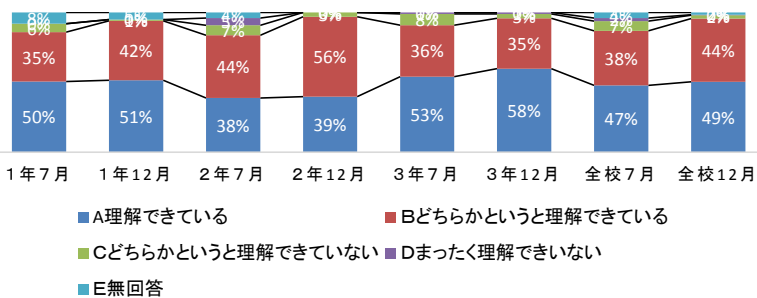
1 学校に行くのが楽しいですか



・「楽しい」、「どちらかという楽しい」が、1学年は87%から91%、2学年は80%から85%、3学年は85%から86%と全学年で増加しており、全学年とも肯定的な回答が80%を超えていることは、大変好ましい結果である。

・学校運営の根幹に関わるこの項目は、100%になるよう、さらに努力していきたい。

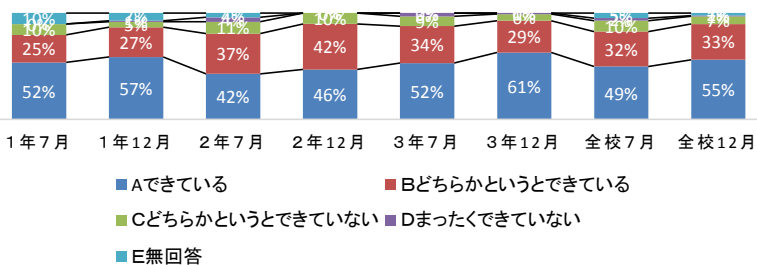
2 グループの学習はよく理解できていますか



・全ての学年において、肯定的な回答が90%を超えており、大変好ましい結果である。

・今後も、効果的なグループ学習を実践し、新学習指導要領が求める「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する必要がある。

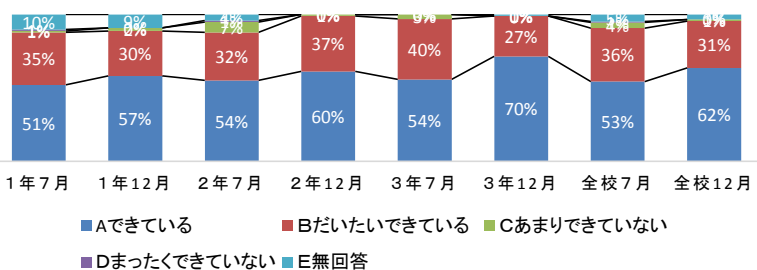
3 グループの学習は自分の考えを伝えることができますか



・全学年で肯定的な回答の割合が上昇しており、全校では88%の生徒が自分の考えを伝えることができているとしている。

・全校では7%の生徒が否定的な回答をしており、1学期に比べて減少はしているものの、生徒全員が自分の考えを伝えることのできる授業や安心して「わからないから教えて」と言える学校風土を醸成する必要がある。

4 グループの学習は、友達の発表を考え方からしっかり聴くことができますか

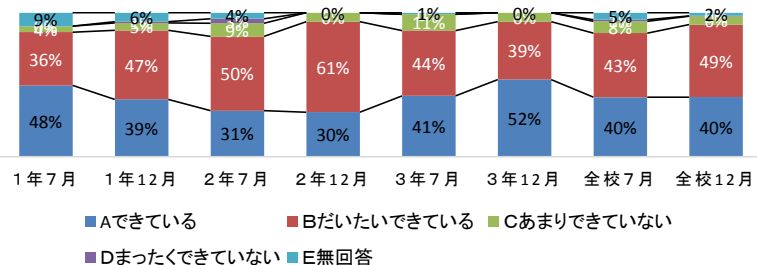


・全学年では93%の生徒が肯定的な回答をしている。

・「できている」の割合が、どの学年も約6割を超えており、3学年にいたっては7割である。

・友達や教師の話を聴くときには、手を止めるとともに体を発言者の方に向けてしっかり聴くようにしたい。さらに、他者の発言を聴いた上で、「なぜ」、「わからない」がお互い言い合える関係づくりを高めていきたい。

5 授業での学習課題に興味をもち、意欲をもって授業に取り組んでいますか

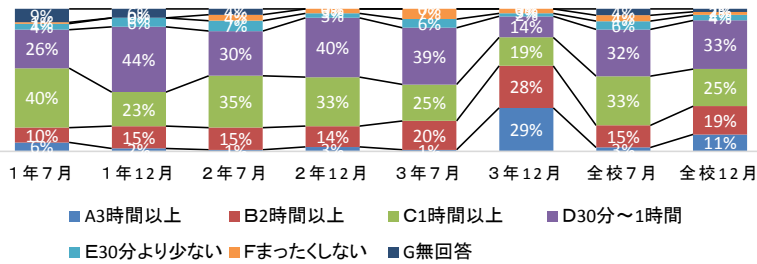


・全校では、89%の生徒が肯定的な回答をしている。

・1年生の「できている」との回答が39%に減少しており、授業への興味・関心・態度が、やや低下傾向にある。

・全校で6%の生徒が興味や意欲をもつことができていない。「楽しい・わかる・できる」授業実践により、全生徒の学習意欲を高めていきたい。

6 普段(月～金曜日)家庭で、自分から机について取り組む1日あたりの勉強時間はどれくらいですか。



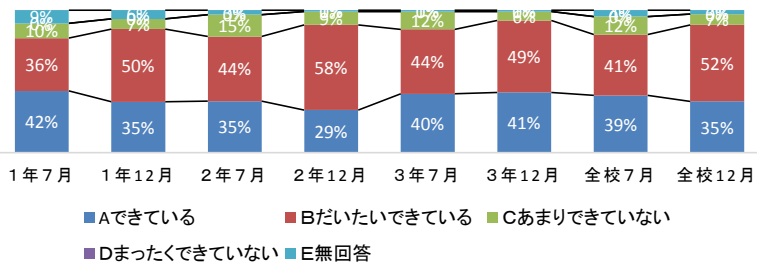
・3年生で3時間以上が29%と激増している。受験に向けたラストスパートの結果と思われるが、30分未満、まったくしない生徒も5%存在している。

・2年生は、1時間未満が50%であり家庭学習の時間が不足している生徒が半数と決して低くはないが、「30分より少ない」、「全くしない」が減少し「30分から1時間」が10ポイント増加していることはよい傾向である。

・1年生では、1時間以上の生徒が40%から23%に減少しており、上記の授業に対する興味・関心・意欲の低下に起因すると思われる。

・学力向上の鍵は、積極的な授業への取組と継続的な家庭学習の2本柱である。自主学習ノートの活用、メディアコントロール等により、一人ひとりの家庭学習習慣の確立が必要である。

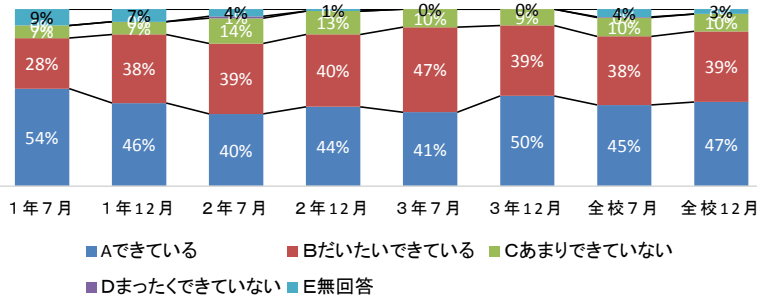
7 自問清掃では、私語をがまんし、自分と向き合うことができているか



・全校で87%の生徒が肯定的な回答をしている。「心みがき」の取組の成果と捉えることができる。

・誇りを高めるために、生徒一人ひとりの自問清掃に対する意識をさらに高めていきたい。

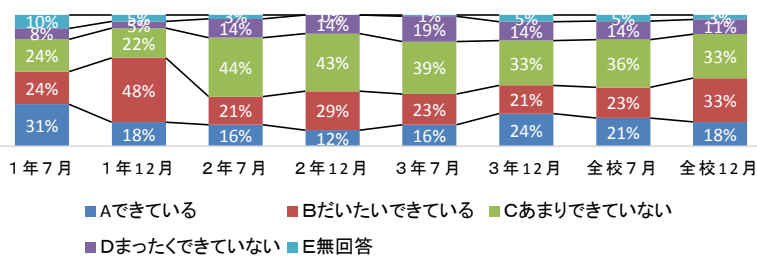
8 学校や教室などの整理整頓を心がけていますか



・全校で86%の生徒が肯定的な回答をしている。

・学校内外の整理整頓が、学習に集中できる環境を整え、落ち着きのある学校につながるという意識を全生徒にさらに浸透させたい。

9 自分から進んで地域の行事やボランティア活動に参加していますか

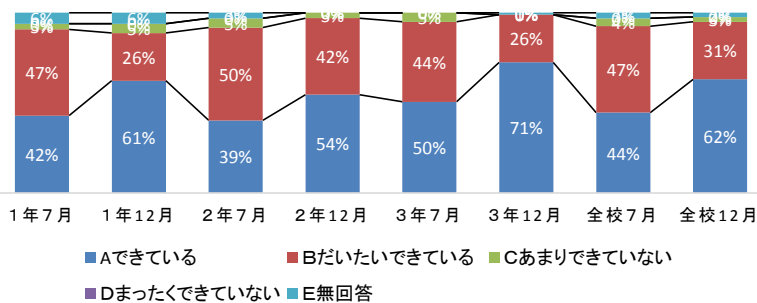


・全校で51%の生徒が肯定的な回答をしており、昨年度同時期の39%から12ポイントも上昇している。

・1年生では、66%の生徒が肯定的な回答をしている。

・地域行事やボランティア活動に参画する生徒はリビート率が高く、そこから、さらに全校生徒を巻き込み、拡充していくことが望まれる。また、部活動や学校行事の日程調整も重要なファクターと思われる。

10 2分前着席、1分間黙想ができていますか。

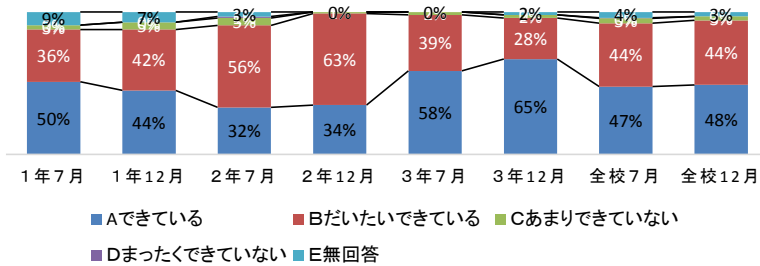


・全校では93%の生徒が肯定的な回答をしており、どの学年も定着率が高い。

・1年生から「できている」の割合が高いのは、小中一貫教育の成果だと言える。

・全校体制で授業に向かう姿勢を強化し、小学校も巻き込んだ共同実践により、小中一貫教育を一層推進していきたい。

11 時と場に応じた人を思いやる言葉づかいができていますか

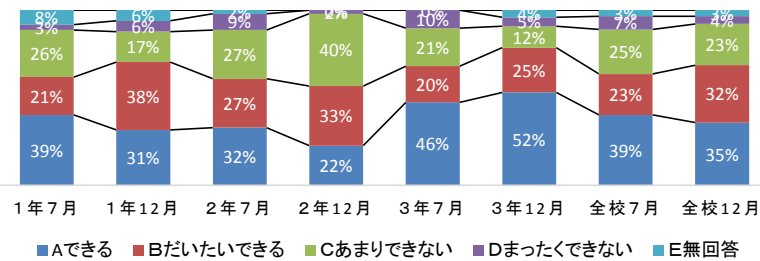


・全校では92%の生徒が肯定的な回答をしており、いじめの根絶に結びつくことを期待する。

・時と場に応じた人を思いやる言葉づかいは、豊かな人間関係づくりの基本であり、生涯大切にしてほしい。

・今後も、生徒と教師が一体となり、規律があり、思いやりの心にあふれた学校づくりに努めたい。

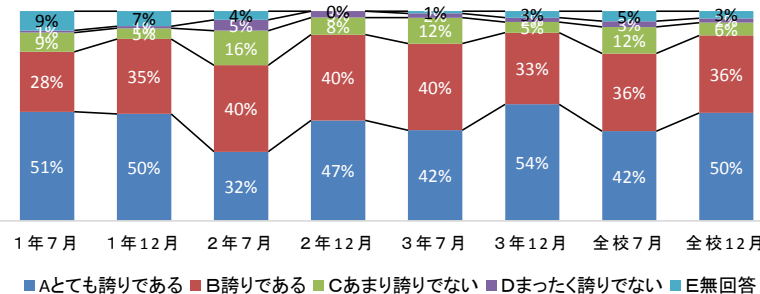
12 将来の夢やつきたい職業など、志を話すことができますか



・全校では67%の生徒が肯定的な回答をしており、進路決定の時期にある3年生の「できている」の割合が最も高い。

・1、2年生の「できている」の割合が低下している。キャリア教育を意図的・計画的に実施し、一人ひとりの夢の実現に向け一層力を入れていかなければならない。

13 桃山中に誇りをもっていますか



・桃山中校区では、小中一貫教育推進のため、小中共通の学校教育目標として、「誇りのもてる児童・生徒の育成」を掲げている。したがって、この項目は、一貫した学校教育目標がどれだけ生徒に実感できているかを問うものである。

・全校では86%の生徒が「とても誇りである」「誇りである」としており、全ての学年で85%を超えている。

・全校生徒が桃山中に誇りを持ち、卒業後は、コミュニティ・スクール、地域協育ネットの担い手となり、桃山中校区を支える人材に育ってくれることを願っている。